

〒758-8555 山口県萩市大字江向 510  
TEL : 0838-21-7765 FAX : 0838-25-7767  
e-mail : hg-geo@city.hagi.lg.jp  
HP : <http://www.city.hagi.lg.jp/site/hg-geo/>

発行：萩ジオパーク構想推進協議会  
事務局：萩市ジオパーク推進課  
Facebook: <https://www.facebook.com/HagiGeoProject>

## 日本ジオパーク・今年度の認定審査の結果を踏まえて

9月27日(水)に日本ジオパーク委員会が開催され、今年度の日本ジオパーク新規加盟地域の審査が行われました。申請を行った4地域のうち「土佐清水(高知)」と「那須烏山(栃木)」は、5月21日(日)の申請地域のプレゼンテーションを受けての机上審査の結果、認定見送りとなり、「国引き(島根)」と「十勝岳(北海道)」が現地審査に進んでおりましたが、今回の委員会で「国引き」は認定保留、「十勝岳」は認定見送りとなりました。

5月の新規認定プレゼンテーションで、審査員からある地域に対し「ジオパークを目指すということに何を考え、変えようとしているのか、地域の課題解決として考えているのか、新しい展開を求めているのか。」という問いかけがありました。ジオパークができて10年、これまで認定された地域を含め改めて原点に戻り、ジオパークとしてあるべき姿を踏まえた見直しが進められています。萩もジオパーク活動の充実や体制の整備だけでなく、皆様としっかりと「萩ジオパークの将来像」を描いていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(事務局長：福島康行)

## みがいてみがいてお宝発見ーチャレンジ！ 石みがきー 10/1(日)

17回目を迎えた「青少年のための科学の祭典」に、今年も推進協議会から出展をしました。会場の明倫小学校の体育館には、子どもたちや保護者約1200人が来場し、さまざまなブース(全21ブース)を楽しんでいました。本協議会の今年のテーマは「おたから＝フズリナ化石」。福栄地域半田で採取した石灰岩を磨いて、化石を見つけました。石を磨くのに15分程度がかかりますが、子どもたちは腕のだるさと格闘しながら、一心に石磨きに挑戦していました。段々と石がツルツルになり、フズリナ模様が見えてくると、喜びの声をあげていました。磨いた後は、顕微鏡でフズリナを観察し、3億年前の出来事に思いを馳せていました。

同時開催の「科学作品展覧会」では、佐々並小学校5年の山根伽音さんの作品、『佐々並に温泉を作るぞ！ー2ー』は、昨年の内容を深化・発展したものでした。今年は、名物の「佐々並豆腐」を利用した入浴剤にも挑戦し、美肌効果・冷え性子防・ストレス軽減などの効果を探求していました。今後の展開が待ち遠しい研究です。

[左：石磨きに取り組む子どもたち、  
右：入浴剤の研究物展示]



## 萩ジオマスター講座が開催されました (3 講座)

9月から始まった「萩ジオマスター講座」が盛り上がりを見せています。

9月30日(土)には、「萩の大地の成り立ちⅠ～南の海から来た大地～」と題して、約3億5千万年前からつくられ始めた萩の大地の土台について学びました。バスで秋吉台を訪れて、Mine秋吉台ジオパークのガイドさんに案内をしていただきました。萩でも見られる石灰岩などの古い岩石は、はるか南の海でつくられたサンゴ礁がプレートの動きによって移動し、大陸の縁にくっついて陸地になったということ、肌で感じることができました。



〔サンゴ礁でできた秋吉台の見学〕

10月7日(土)には、山口大学の今岡照喜教授を講師に招き、「萩の大地の成り立ちⅡ～白亜紀の火成活動～」というテーマで、阿武町を舞台に座学と現地見学をしました。およそ1億年前には萩の地下で巨大なマグマが活動していて、それが大規模な噴火を起こしていたことを学びました。地元の漁師さんたちにもご協力をいただき、船に乗って海岸の断崖を見学しました。地下数十kmにあったマグマの姿が目の前に広がる光景は圧巻でした。地元阿武町の参加者からも、「今まで知らなかったことばかり。」と驚きの声が聞かれました。



〔船上からの断崖の見学〕

10月10日(火)の夜は、「萩に関わる地球の歴史」と題して、山口大学の脇田浩二教授をお招きしての講演会でした。地球全体の歴史、日本列島の誕生の歴史という大きな地球活動の中で、萩の大地はいかにしてつくられていったのか、4億年を1時間半でコンパクトにお話しくださく贅沢な時間でした。専門的でありながらとてもわかりやすい脇田先生の解説に、たびたび笑いも交えながら楽しい講演でした。参加者からは活発に質問が飛びだし、是非、またお話を聞きたいという声も聞かれました。



〔日本列島の誕生歴史の講演〕

萩ジオマスター講座は、毎回60名ほどの方々にご参加いただき、ご好評をいただいています。楽しく学べるだけでなく、お隣のMine秋吉台ジオパークのガイドさん、大学の先生、地元の漁師さんなど様々な方々、そして参加者同士のこれまでになかったつながりが生まれていることも、嬉しい効果だと感じています。萩ジオマスター講座は、1月まで続きます。毎回、楽しい講座になるように、新たな出会いやつながりが生まれるようにしていきたいと思ひます。

(ジオパーク専門員：白井孝明)

※ 受講には、必ず事前の申込みが必要です。5日前までにお電話(0838-21-7765、平日9:00～17:00)にてお申込みください。

月 日	テーマ	講 師	会 場
11月5日 (日)	【必修⑤】萩の大地の成り立ちⅣ ～阿武火山群その1～	角 縁 進 (佐賀大学)	座学：萩・明倫学舎 現地：笠山
11月18日 (土)	【選択②】萩焼はなぜ美しい (先着20名) ※10/30 申込開始	坂 悠太 (坂高麗左衛門窯)	集合場所：萩市役所 現地：坂高麗左衛門窯
11月19日 (日)	【選択③】萩の農作物はなぜ美味しい (先着20名) ※10/31 申込開始	むつみ千石台出荷組合	集合場所：萩市役所 現地見学：むつみ千石台
11月23日 (木・祝)	【選択④】萩の酒はなぜ美味しい (先着20名) ※11/6 申込開始	阿武の鶴酒造 岩崎酒造	集合場所：萩市役所 現地見学：岩崎酒造・阿武の鶴酒造
11月25日 (土)	【必修⑥】萩の大地の成り立ちⅤ ～阿武火山群その2～	清杉 孝司 (神戸大学)	座学：弥富公民館 現地：龍が通った道

# ふるさと阿東の成り立ちを学ぶ

## ～山口市阿東地域小中学校スケッチ大会～

山口市阿東地域の小中学校では、毎年学校行事として長門峡のスケッチを行います。優れた作品は長門峡観光協会が主催するコンテストに出品、11月3日（金）に開催される長門峡もみじ祭で表彰されます。

阿東地域の小・中学生が長門峡を訪れるこの機会を利用して、NPO あとうからの依頼で長門峡及び阿東地域の大地の成り立ちを白井孝明専門員が説明をしました。

小学校は9月29日（金）に洗心橋の上で、中学校は11月4日（水）に道の駅長門峡のステージ裏の篠目川の降り口で行いました。

さて、大地の成り立ちを知って描いたスケッチはどんな絵になったのでしょうか？

（事務局員：伊藤靖子）



〔大地の成り立ちの説明を聞く中学生たち〕

## ジオ・カメラ散歩



JICA（国際協力機構）の研修の一環で、世界ジオパークでもあるイランのゲシュム島から視察団が来萩されました。萩ジオパーク構想の取組みについての講演と現地視察で笠山周辺をご案内しました。研修生の方々からは、住民参加型の取組みや学校教育などについて、とても参考になったと感激の声をいただきました。



ばちさばきに、さらに磨きのかかった龍神太鼓。参観者から拍手喝采を受けました。



地元ジオサイトを紹介したブースも設けられました。

10月3日(火)萩市議会議員互助会主催の議員セミナーが開催されました。まず、白井孝明専門員を講師に、「ジオパークによる地域の描き方」について、改めて座学でおさらいをし、続いて、生憎のお天気でしたが現地視察として萩ジオパーク構想の見どころの中から、笠山山頂の展望台、須佐ホルンフェルス、龍が通った道を巡りました。

ジオパークでは、その地域の自然・歴史・文化がどのようにできたのかを大地の成り立ちから解きほぐします。これまでの議員セミナーでは、萩の大地のすばらしさや魅力を中心にジオパークについてお伝えしてまいりました。今回のセミナーを通じ、ジオパークは、「すばらしい自然・歴史・文化を地球活動の一部ととらえなおすことにより、社会の価値観を変えるものである」ことについてお伝えすることができたのではないかと思います。



〔龍鱗峽を見学する議員の皆さん〕

#### ジオパーク・ワンポイント講座④ ジオパークの審査は厳しくなった？

今年の日本ジオパークの新規認定結果が発表されました。3地域が見送り、1地域が保留と、審査が厳しくなったのではという声も聞かれます。審査は、申請書の提出とプレゼンテーション、現地審査を経たのち、日本ジオパーク委員会で審議されて結果がでます。

ジオパークは認定されてから本格的に活動が始まり、長く継続して

いくことを考えると、最初の認定審査は非常に重要です。認定された地域がその後苦しまないために、審査の方法や基準自体の検討が重ねられています。その結果、今までよりも慎重に審査されるようになったということです。

萩は来年審査を受ける予定ですが、長く活動を続け未来をつくりあげていく覚悟を見てもらえるように、準備を進めていきましょう。

(ジオパーク専門員：白井孝明)

## 11月の予定

- ジオウォークって何 in 長門峡 10月31日(火) 9:30~16:00 会場：長門峡自然休養村管理センター 定員：15名 集合場所：長門峡龍宮淵 内容：長門峡散策を通して、ジオパークとしての楽しみ方見せ方を一緒に考えます。主催：NPO あとう、問合せ：萩市ジオパーク推進課 (0838-21-7765)
- 日本一おもしろい火山体験ツアー in 笠山をみんなでつくろう 11月9日(木) 13:30~15:00 会場：笠山山頂展望台 内容：火山のめぐみ(海)の展望台での見せ方をみんなで考える。 11月14日(火) 19:00~20:30 会場：越ヶ浜介護予防センター 内容：地元特有のものから大地とのかかわりを探る。 主催：萩ジオパーク構想推進協議会 問合せ：萩市ジオパーク推進課 (0838-21-7765)
- 萩ジオカフェ 11月16日(木) 14:00~15:30 会場：萩・明倫学舎復元教室、18:30~20:00 会場：萩市中央公民館講座室(萩市民館)、参加費：100円、申込み：萩ジオパーク構想推進協議会 (0838-21-7765) ※夜の回では全国大会報告も含め、他のジオパークの事例紹介を予定しています。
- 北浦ジオストーリー 11月21日(火) 10:00~17:00 会場：萩・明倫学舎外 内容：ジオパークについての学習と現地見学 主催：山口きらめき財団 問合せ：山口きらめき財団 (083-929-3600)
- 萩ジオパーク構想推進協議会臨時総会 11月27日(月) 10:00~11:00 会場：萩市役所大会議室 問合せ：萩市ジオパーク推進課 (0838-21-7765)
- 萩ジオマスター講座(第11回) 12月2日(土) 10:00~13:00 会場：シーマと萩、定員：15名 参加費：500円 内容：萩の魚はなぜ美味しい 主催：萩ジオパーク構想推進協議会 問合せ・申込み：萩市ジオパーク推進課 (0838-21-7765) ※11/13申込開始、定員になり次第締切り。
- 萩ジオマスター講座(第5回の振替) 12月3日(日) 10:30~16:00 会場：【座学】須佐公民館 【現地】須佐湾周辺、高山ほか 参加費：無料、内容：萩の大地の成り立ちⅢ(日本海の誕生と火成活動) 主催：萩ジオパーク構想推進協議会 問合せ・申込み：萩市ジオパーク推進課 (0838-21-7765)、※萩ジオマスターの認定を受けるにはこの回の受講は必須です。